

植物

種名	ヤブレガサモドキ ( <i>Syneilesis tagawae</i> Kitam.)
指定の理由	本県がタイプ産地であり、他の2県においてのみ記録がある。開発行為及び里山の管理放棄により絶滅のおそれがある。
形態	草原や林縁に生える多年草。茎は高さ1～1.2m。下部の葉は楕状につき、円形で径24～30cm、掌状に深裂し、裂片は6～8個で、さらに2裂し、終裂片は披針形鋭尖頭。縁にわずかに鋸歯があるが、やや全縁。散房状花序は、幅10～20cm。頭花は径7～10mm、花柄は6～10mm。花冠は淡紅紫色。
生息分布状況	高知県内では中部以東の数箇所で記録されており、3箇所で現存が確認されている。
種の存続を脅かす要因	開発・里山の管理放棄
保護に関する指針	県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の採取等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR(絶滅危惧 I A類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少</li> <li>・生育地の環境が著しく悪化若しくは消滅しつつある種</li> <li>・商品価値や希少性の高さから個体維持に支障を来す採取対象種</li> </ul>



写真提供: 高知県立牧野植物園